OMPU BioBank
大阪医科薬科大学 バイオバンク

なぜバイオバンクが必要なの？

バイオバンクとは、みなさまからご提供いただいた血液、組織など（これらを試料と呼びます）を診療の情報（治療や検査の記録など）と合わせて保管・管理し、医学の研究に活用する仕組みのことです。ご提供いただいた試料と診療の情報は、病気の予防・診断・治療にわたる多くの研究を支える貴重な資源となります。そして、その研究成果は、未来のより良い医療につながることが期待されます。



OMPUバイオバンクへのご協力のお願い

OMPUバイオバンクについてご理解いただき、ご協力いただいた場合の流れについてご説明します。

Step1 ―― バイオバンク保管までの流れ



1 各診療科の主治医やバイオバンクのスタッフから、バイオバンクへのご協力について詳しくご説明いたします。ご不明な点があれば、どのようなことでもご質問ください。

2 OMPUバイオバンクにご協力いただける場合は、お渡しする書類（同意書）にご署名ください。



3 バイオバンクの協力に対して、以下をお願いさせていただきます。

血液	体液	組織



詳しくは、別紙説明文書のP3をご参照ください。

4 個人情報の削除（匿名化）

得られた試料や情報は、氏名や住所などの個人情報を削除し、新たに番号を付与して管理します。このように、個人が特定できない状態にすることを「匿名化」といいます。（例：医大 太郎 → A0001）



5 バイオバンクでの保管

匿名化された試料・情報は、バイオバンクにおいて厳重に管理・保管されます。





OMPUバイオバンクへのご協力については、あなたの自由な意志でご決断をいただくものです。ご協力いただけない場合や、途中でご協力を取り下げる場合も、その後の診療において、不利益を受けることは一切ありません。ご協力の可否にかかわらず、あなたへの最適な治療に最善を尽くします。みなさまのご協力によって得られることが期待される医学の研究成果は、あなたから未来の人々への贈り物となります。

研究利用社会実装へ ≫≫6

Step2 ―― 研究への活用方法

6 研究利用の申請

研究者がバイオバンクの試料・情報を研究に利用する場合には、研究計画を作成し、研究倫理委員会に申請します。



7 研究倫理委員会による審査

患者さまの安全と人権を守るため、研究倫理委員会により、研究の目的や方法、倫理性などについて慎重な審査が行われます。



8 承認された研究への利用

研究倫理委員会で承認された研究に限り、バイオバンクに保管された試料・情報が研究に利用されます。



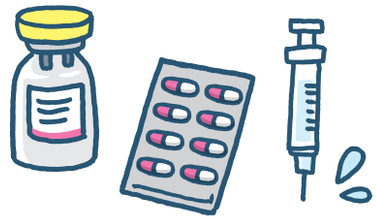
Step3 ―― 社会実装

9 研究成果の社会への還元

研究成果は、新しい診断法や治療法の開発など、将来の医療の向上に役立てられます。

予想される研究には以下のようなものがあります。

- 病気の原因の解明
- 病気の予防法の開発
- 病気の検査・診断・治療法の開発
- 治療の効果や副作用の解明
- 新しいお薬の開発



これらの中には、すべての遺伝情報の解析（全ゲノム解析）やご提供いただいた試料（血液・組織・体液など）をもとに作成した細胞株や腫瘍移植モデルなどがあります。
また得られたデータは公的データベースで公開されることがあります。これにより、国内外の多くの研究者がデータを活用し、病気の診断や予防、治療に役立てられることが期待されます。
その際は、個人が特定されないための対策を行います。

現在行われている研究は以下よりご確認いただけます。
https://www.ompu.ac.jp/department/rdcenter/transregular/patients.html

トランスレーショナルリサーチとは？

トランスレーショナルリサーチ（TR）は **Translational＝「翻訳」**の言葉どおり、基礎研究の成果を臨床で使える診断法・治療法へ"翻訳"して患者さんに届ける橋渡し研究です。大阪医科薬科大学TR部門は、バイオバンクで適切に管理された試料や情報を活用し、学内外・企業との共同研究を推進して、疾患理解から診断・治療へとつながる研究成果の創出と社会実装を目指します。

OMPU BioBank
Osaka Medical and Pharmaceutical University BioBank

OMPUバイオバンクご協力に関する よくあるご質問



Q1 バイオバンクへの提供を断るとどうなりますか？

バイオバンクへのご提供は、任意です。
「試料・検体情報」をご提供されるどうかは、患者さまの自由な意思でご決断いただくものです。ご提供いただけない場合も、通常診療への影響は一切ありません。また、一度ご提供を決められた場合でも、いつでも取り下げられることができます。
その場合でも不利益は一切ありません。

Q2 提供後、途中でやめた場合の試料や検体情報はどうなりますか？

研究開始前の場合は速やかに「試料・検体情報」を破棄または 削除いたします。
研究途中の場合は、「試料・検体情報」の特定が可能な場合は破棄・削除しますが、
すでに番号・記号化で匿名化されていますと特定は難しくバイオバンクで保管されます。
ただしすでに、学会・論文などで公表されたものは削除する事はできません。



Q3 試料を提供する際に身体的な負担はありますか？

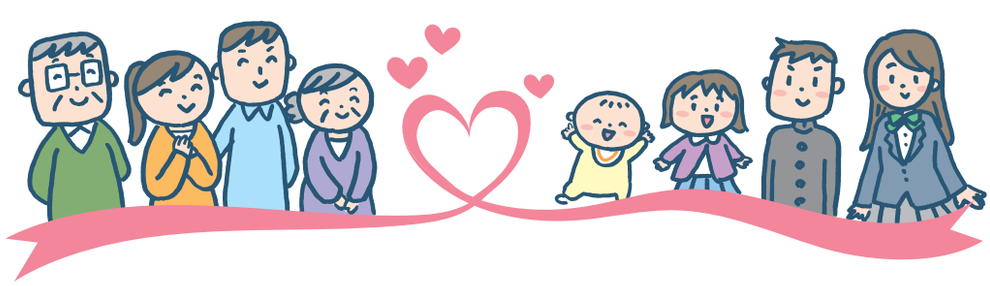
採血 検査の際に約14mL、診療の過程で採取された 組織の一部をご提供いただきます。
ご提供のためだけを目的とした採血、組織の採取はありません。

Q4 試料を提供する際に体に健康被害が発生した場合はどうなりますか？

健康被害が発生する可能性は低いと考えています。
万一、健康被害が発生した場合は患者さまが加入されている健康保険にて治療をおこないます。

Q5 試料や診療情報を提供することで得られる利益などはありますか？

患者さまへの直接的な利益などはございません。
ただし、研究の過程で患者さまの子孫に受け継がれる遺伝学的特徴に関する情報が得られる可能性があり、患者さまのご家族の健康を守る上で重要と考えられる結果が判明した場合、その内容をご家族へお伝えしてよいかは、患者さまのご希望に従います。
ご家族へお伝えするか悩まれ疑問や不安を感じられた場合は、本学の遺伝カウンセリング担当医をご紹介いたします。
また、直接的ではありませんが患者さまのご提供により、将来の医療の発展につながり、次世代に生きる人々の健康に役立つ可能性があります。



ご不明な点はOMPUバイオバンクにお問い合わせください

【お問い合わせ窓口】
大阪医科薬科大学総合医学研究センター
トランスレーショナルリサーチ部門（TR部門）
〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

072-683-1221（代表） [内線：3909]
trp000@ompu.ac.jp
※お電話でのお問い合わせは月～金曜日 9:00～16:00

大阪医科薬科大学総合医学研究センターTR部門　https://www.ompu.ac.jp/department/rdcenter/transregular/

OMPU BioBank
大阪医科薬科大学 バイオバンク